

# 第10回健康グループでのまとめ

## 医療

①

病院と住民との定期的懇談

②

住民は、症状に応じて開業医の利用。病院と開業医の連携強化

③

患者の尊厳と「ありがとう」など、コミュニケーションの充実

④

病院と各種団体(学校、保育園、職場、老人会、医療職OB等)との連携強化

⑤

病院は、職員を増員し、地域ケアスタッフの負担を軽減する。住民も学習し、支える役割を果たす

⑥

医の交番など気軽に寄れる相談コーナー

## 保健・健康

①

幼児から高齢者まで、行政・病院一体となった住民健康管理システム

④

生活習慣病の発見・予知など、医療から予防にシフト

②

健康づくりにむけて、市民・病院・行政との協働

⑤

お産や幼児の病気などについて、病院スタッフによる市民向け勉強会

③

病院施設や地域施設を利用して、健康増進のための運動療法など実施

⑥

保健予防事業により、医療費や介護保険料等も抑制していく指導センターの役割を

## 福祉

①

市民の理解と支援を得ながら在宅介護と在宅医療の充実

②

知識・経験を活かして社会貢献をしたい高齢者の活躍の場(ボランティア・配食サービス等)

③

介護や子育てなどに、ボランティア地域支援

④

終末期医療の施設(ホスピス)の建設  
・病院から2~3キロの距離  
・病院のバックアップが受けやすい立地

## その他

①

各病棟に一部屋は絵画・写真を飾り、患者がホッと寛げる面会室を

③

1階ギャラリーは、文化展として今後も継続する

⑤

病院運営への住民参加

②

医療・健康・患者体験記等が充実した図書室にし、患者や市民も利用しやすくする

④

独身医師・看護師・看護学生等と地元独身者の交流会を恒常化。交流場所や交流方法の検討

⑥

地元独身者との結婚で定住人口の増加。結婚後も、家族や市民が支える地域づくり